

埼玉県内企業の 2017 年度春季賃上げ見通し調査

調査対象：県内企業 567 社

調査方法：アンケート方式（2 月上旬 郵送回収）

回答企業：198 社(回答率 34.9%)

業種別内訳：製造業 112 社 非製造業 86 社

要旨

○2017 年度に賃上げを予定している企業の割合は、62.2%と、2016 年度比 1.5 ㊦増となっている。国内景気が緩やかな回復基調にある中、前年度に比べ県内企業の賃上げに対する前向きな取組姿勢がうかがわれる。ただ、約 3 割の企業が、検討中など賃上げ取組方針が決定に至っていない状況である。

○1 人当たり平均賃上げ予定額と賃上げ予定率(両者とも定昇とベースアップ込み加重平均、以下同じ)は、全体では金額で 4,658 円、率で 1.83%と、前年度の 4,508 円、1.75%に比べ、金額は 150 円、率も 0.08 ㊦増加している。業種別では、製造業が 4,649 円、1.86%(前年度実績 4,393 円、1.71%)、非製造業が 4,670 円、1.78%(前年度実績 4,643 円、1.80%)となっている。前述したとおり賃上げを予定している県内企業数は増えているが、その内容はほぼ前年並みとなる見込みである。

1. 春季賃上げ取組予定

(1) 全体

①賃上げ実施の有無

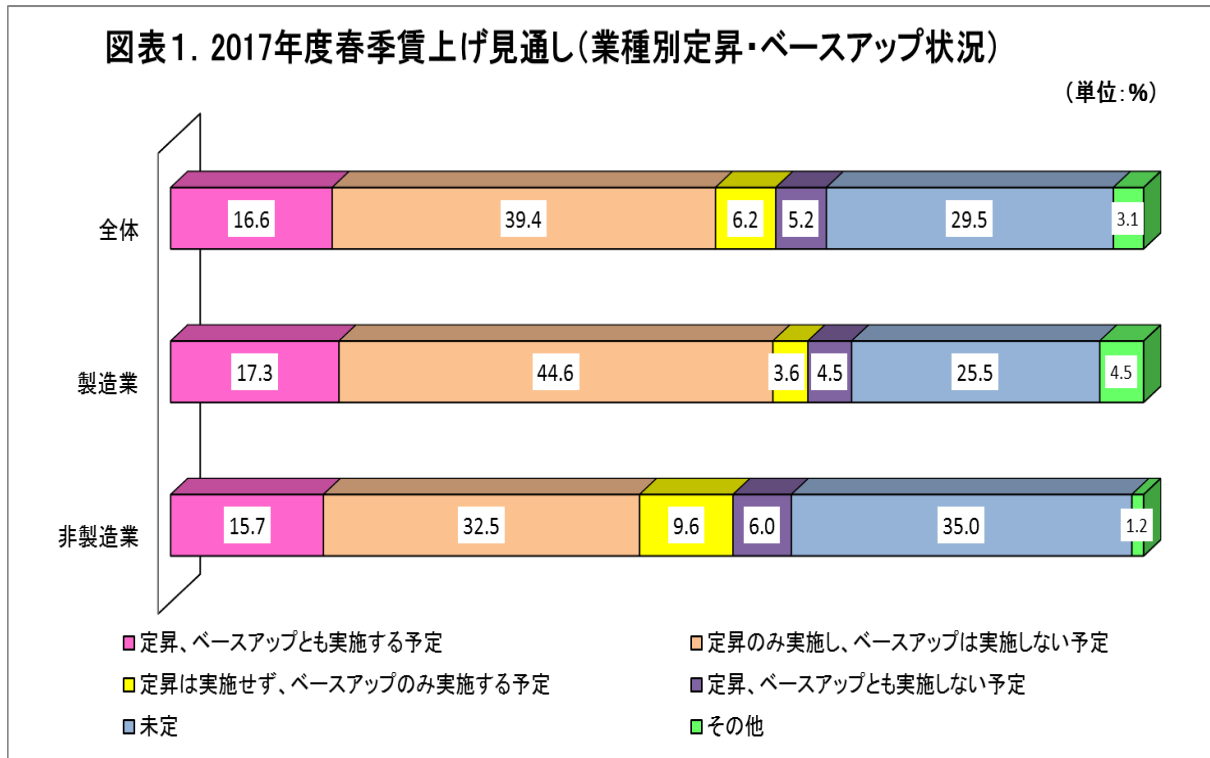
2017 年度に賃上げ(「定昇、ベースアップとも実施予定」、「定昇のみ実施予定」及び「ベースアップのみ実施予定」の合計割合、以下同じ)を予定している企業の割合は、62.2%で前年度比 1.5 ㊦増加となっている。一方、2017 年度に賃上げを予定していない企業の割合は 5.2%で同比 0.5 ㊦減少となった。また、「未定」が 29.5%で同比 0.8 ㊦減少と、約 3 割の企業が、検討中など賃上げ取組方針が決定に至っていない。国内景気が緩やかな回復基調にある中、前年度に比べ県内企業の賃上げに対する前向きな取組姿勢がうかがわれる。(図表 1)

②定昇とベースアップの取組状況

2017 年度に賃上げを予定している企業の取組状況を見ると、「定昇、ベースアップとも実施予定」は 16.6%で前年度比 0.6 ㊦減少とほぼ横ばい、「定昇のみ実施予定」は 39.4%で前年度比 1.6 ㊦増加、「ベースアップのみ実施予定」は 6.2%で同比 0.5 ㊦増加している。賃上げに前向きな要因としては、企業業績が回復傾向にあること、労働需給の逼迫を背景に企業が労働人員の確保や定着に努めていることなどが挙げられる。(図表 1)

(2) 業種別

業種別に見ると、賃上げを予定している企業の割合は、製造業で 65.5%と前年度比 8.0 ㊦増加した一方、非製造業では 57.8%と同比 6.7 ㊦減少している。また、「賃上げを行わない」企業が製造業で 4.5%と同比 2.6 ㊦減少した一方、非製造業では 6.0%と同比 1.8 ㊦増加している。(図表 1)



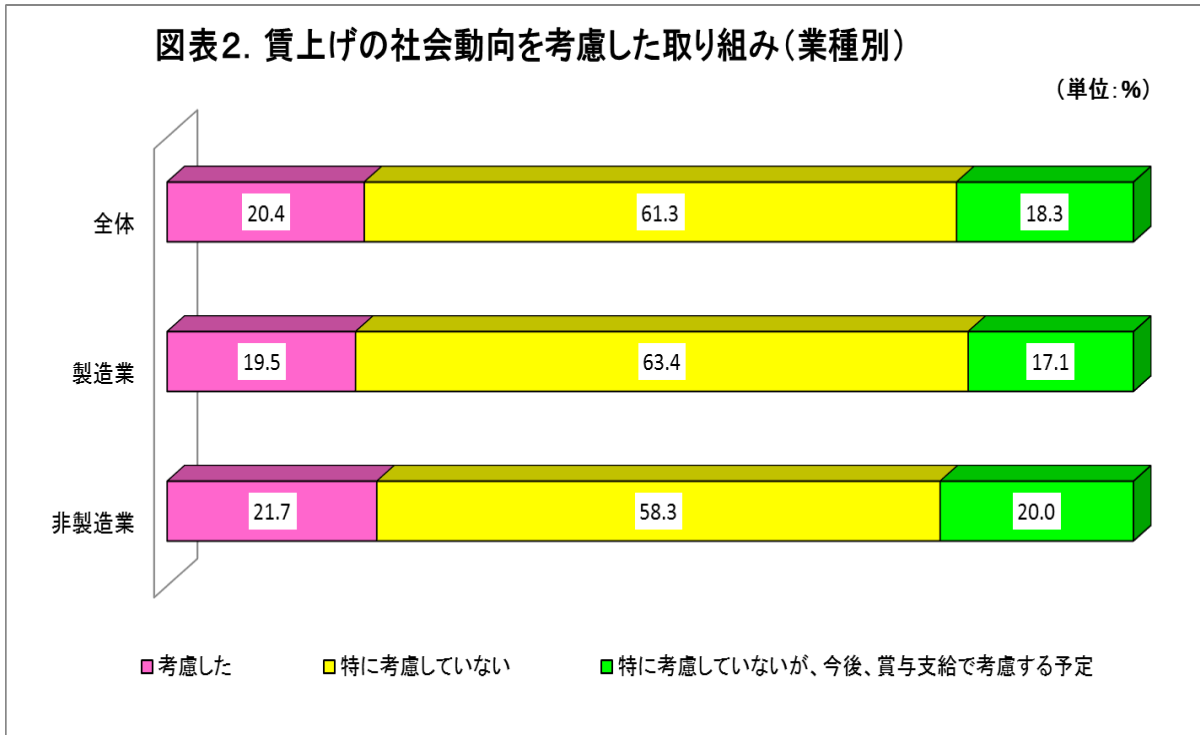
2. 賃上げに関する社会動向を考慮した取り組み

(1) 全体

社会動向を考慮して賃上げに取り組むかを尋ねたところ、全体では、「考慮した」は20.4%で前年度比4.6ポイント、「考慮していない」は61.3%で同比9.9ポイントそれぞれ減少した。一方、「特に考慮していないが、今後、賞与支給で考慮する予定」は18.3%と同比14.5ポイントと大幅に増加しており、継続的な固定費となる賃上げそのものは回避し、社員に対し、一時金の賞与で若干の待遇改善を図る企業が増加していると考えられる。(図表2)

(2) 業種別

社会動向を「考慮した」企業は、製造業は19.5%、非製造業は21.7%となった。「特に考慮していないが、今後、賞与支給で考慮する予定」は、製造業が17.1%で非製造業は20.0%。業種間で大きな違いは見られなかったものの、非製造業の方が、賃上げへの取り組みで社会動向に配慮する傾向がやや強いようだ。(図表2)



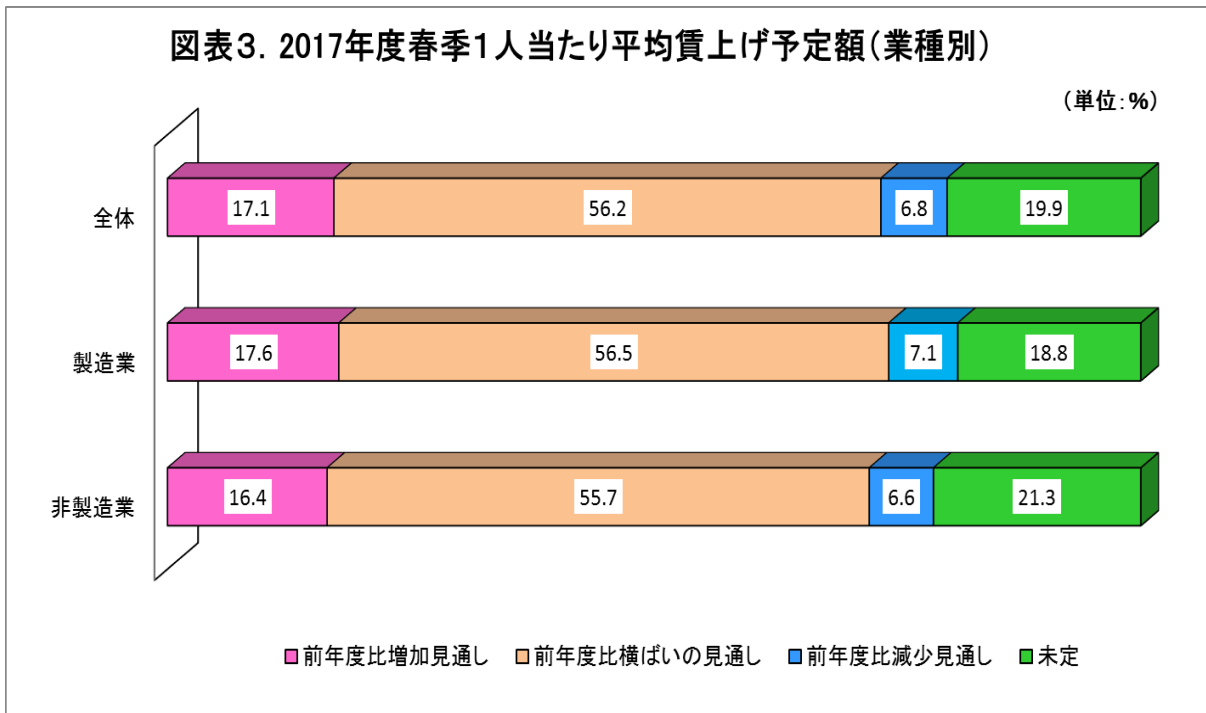
3. 1人当たり平均賃上げ予定額の方針

(1) 全体

賃上げを予定している企業に、1人当たり平均賃上げ予定額について尋ねたところ、「前年度比増加見通し」が17.1%で前年度比7.1%減少、「前年度比横ばいの見通し」が56.2%で同比3.2%増加、「前年度比減少見通し」が6.8%で同比3.0%減少、「未定」が19.9%で同比6.9%増加となった。2017年度の1人当たり平均賃上げ予定額に関して、半数以上で前年度並みとする方針の一方で、2割程度の企業が方針を決めかねていることを示している。(図表3)

(2) 業種別

製造業で、「前年度横ばいの見通し」が56.5%で半数以上を占め、「前年度比増加見通し」が17.6%で前年度比9.3%、「前年度比減少見通し」が7.1%で同比4.8%それぞれ減少した。非製造業では、「前年度比横ばいの見通し」が55.7%で製造業と同様に半数以上を占め、「前年度比増加見通し」が16.4%で同比5.1%、「前年度比減少見通し」が6.6%で同比1.1%それぞれ減少した。業種間で大きな違いはみられなかった。(図表3)



4. 1人当たり平均賃上げ予定額及び賃上げ率

(1) 全体

全体の2017年度平均賃上げ予定額(以下、賃上げ額)は4,658円、同平均賃上げ予定率(以下、賃上げ率)は1.83%と、前年度実績(4,508円、1.75%)に比べ、それぞれ150円、0.08%増加した。また、今回より調査を始めた定昇については、2017年度平均定昇予定額(以下、定昇額)は2,836円で、前年度実績(2,873円)に比べ37円減少となった。冒頭で述べた通り埼玉県内企業は取組方針として、賃上げを予定している企業は増えているものの、その内容はほぼ前年並みとなる見込みである。(図表4)

(2) 業種別

業種別にみると、製造業の賃上げ額は4,649円で前年度比256円、賃上げ率も1.86%と同比0.15%それぞれ増加した。定昇額については2,654円で同比295円増加となった。一方、非製造業では、賃上げ額が4,670円で同比27円増加し、賃上げ率は1.78%と同比0.02%減少となった。定昇額については3,052円で同比424円減少した。製造業では、賃上げ、定昇ともに前年度を上回る見込みだが、非製造業では賃上げ額はほぼ前年度並み、定昇額は前年度を下回る見込みであり、業種間で違いがみられた。

また、企業の規模別でみると、従業員100人以上の規模の大きい企業(以下、規模の大きい企業)は前年度に比べ賃上げ額が279円増加となる予定であるのに対し、従業員100人未満の規模の小さい企業(以下、規模の小さい企業)は316円減少となる見込みである。賃上げ額の内、定

昇額については、規模の大きい企業が 2,695 円と、規模の小さい企業の 3,348 円を下回っている。

(図表 4)

(注)図表 4 の集計企業数は、1 人当たり平均賃上げ予定額及び賃上げ率が未定などの企業が多く、図表 1・2 及び 3 の集計企業数とは異なる。

図表 4. 2017年度春季 1人当たり平均賃上げ予定額・賃上げ率

(単位:円、%)

区分	1人当たり平均賃上げ額			1人当たり平均賃上げ率		
	2017年度 予定額 A	2016年度 実績額 B	前年度比増 減額 A-B	2017年度 予定率 C	2016年度 実績率 D	前年度比増 減率 C-D
全体	4,658 (2,836)	4,508 (2,873)	150 (-37)	1.83	1.75	0.08
製造業	4,649 (2,654)	4,393 (2,359)	256 (295)	1.86	1.71	0.15
非製造業	4,670 (3,052)	4,643 (3,476)	27 (-424)	1.78	1.80	-0.02
規模の大きい企業	4,753 (2,695)	4,474 (2,723)	279 (-28)	1.85	1.70	0.15
規模の小さい企業	4,315 (3,348)	4,631 (3,415)	-316 (-67)	1.72	1.92	-0.20

(注)平均賃上げ予定額及び賃上げ予定率はともに定昇、ベースアップ込み加重平均による。
1人当たり平均賃上げ額の括弧内には定昇額を表示。

以上